



# CSRLレポート2019

イズミヤ株式会社





# 毎日、美味しい。 もっと、楽しい。 IZUMIYA

## 計12店舗が、新規出店・建て替え・改装オープン



### 鮮魚売場

#### デイリーカナート イズミヤ岸里店

新店である岸里店のこだわりは「鮮度」  
「できたて」。地域ニーズに応える単身者や  
ご高齢の方に向けた商品も  
多数取り揃えています。



### 美と健康ストリート

#### デイリーカナート イズミヤ伏見店

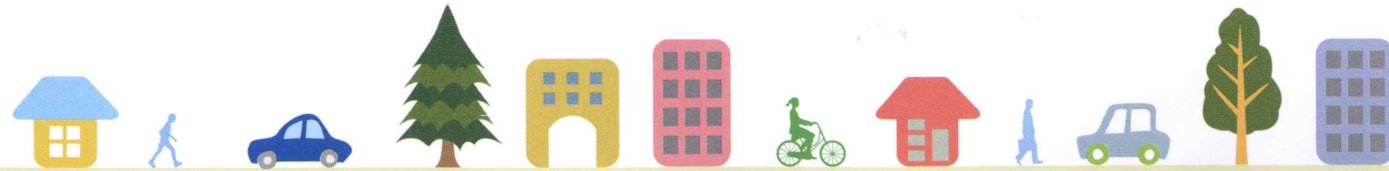
健康、美容をキーワードにした商品を  
カテゴリー化したストリートはお客様に好評。  
五感で楽しむ超鮮度感ストアを  
目指しています。



### 手作りフルーツタルト売場

#### デイリーカナート イズミヤ住道店

イズミヤ初のGMSからNSC®への建て替え。  
お客様に“あてにされるお店”を  
コンセプトに鮮度感ある商品を揃えます。  
※近隣商圏対応型ショッピングセンター



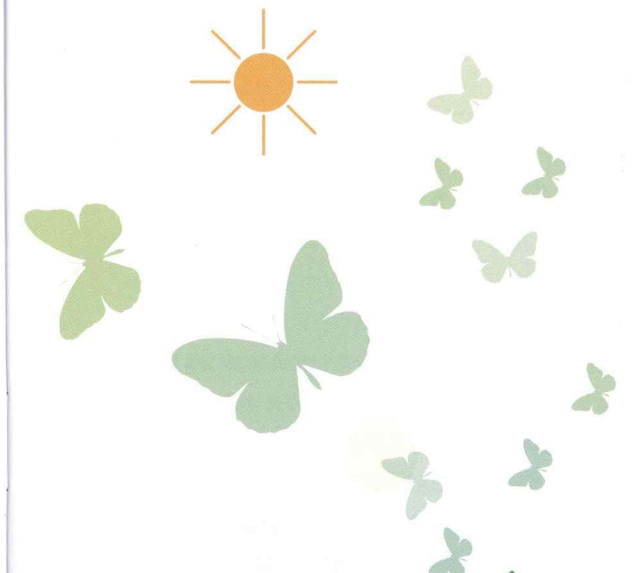
### イズミヤの重点的な活動

|          |    |  |
|----------|----|--|
| コンプライアンス | 経済 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーポレート・ガバナンス</li> <li>・働きがいのある職場づくり</li> </ul>   |
|          | 社会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ええもん安い」商品・サービスの開発</li> <li>・安全・安心最優先の品質管理</li> <li>・お客様に支持される店づくり</li> <li>・食育啓発活動 ・地域貢献活動</li> <li>・お取引先様との協働</li> </ul> |
|          | 環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と人にやさしい商品の提供</li> <li>・地球温暖化対策</li> <li>・廃棄物の減量、資源の有効利用</li> <li>・啓発・コミュニケーション活動</li> </ul>                              |

### コーポレート・アイデンティティ・マーク



中央の赤は太陽、右側のオレンジは太陽のコロナ、左側の緑は木や草。のびのびと成長するもの、平和、愛、生命を象徴するものとして、太陽をシンボルとして取り上げています。  
※一部店舗は景観に配慮しロゴカラーを変更



お客様に「ええもん」  
皆で考え実行しています！

## 02 2018年度 新たな取り組み イズミヤ全店ツアー ～ええモンキーと17人の仲間たち～

各企業のキャラクターが店舗をツアー。  
お客様と楽しくふれあうイベントを企画。



→ P6に掲載



## 01 2018年度 新たな取り組み イズミヤ惣菜総選挙

パイヤー渾身の逸品が公約を掲げて立候補。No.1  
を選ぶ総選挙を行い惣菜売場を活性化。



## 03 2018年度 新たな取り組み カウンター ビジネス部新設

メーカー様ご協力のもと  
イートインコーナーでコー  
ヒーセミナーなどを開催。お  
客様にも大人気。



### CONTENTS

|    |                     |    |                |
|----|---------------------|----|----------------|
| 02 | イズミヤの重点活動           | 12 | 環境方針           |
| 04 | トップメッセージ/経営理念       | 13 | 地球温暖化対策        |
|    | ■社会性報告              | 15 | 廃棄物の削減         |
| 06 | 2018Topics (社会性報告)  | 16 | 環境に配慮した商品の提供   |
| 07 | お客様とともに             | 18 | お客様と行う環境活動     |
| 08 | 従業員とともに             | 20 | 環境コミュニケーション    |
| 09 | 社会とともに/お取引先様とともに    |    | ■コーポレートガバナンス報告 |
|    | ■環境活動報告             | 21 | コーポレートガバナンス    |
| 10 | 2018Topics (環境活動報告) | 22 | 企業情報           |
| 11 | 環境目標と達成状況           | 23 | 第三者意見          |



# 「食品」の関西での 圧倒的なポジション確立を目指して

## GMSの事業モデルから転換 SM運営の基盤を構築する

さらなる成長に向け、イズミヤは2017年度より店舗再編を中核にした構造改革を行ってきました。店舗展開の軸としていたGMS(総合スーパー)をNSC(近隣商圏対応型ショッピングセンター)に業態転換するなど、この間に19店舗の改装・建て替え・新規出店を行い、取り組みを着実に前に進めています。

そして今、当社は新たなフェーズへと歩みを進めます。これまで力を注いできた「食品事業」を圧倒的に強化するために、組織を根本的に再編します。具体的には、イズミヤ株式会社を2020年度に、SM会社、合併会社、SC会社\*の3つの会社に分割します。

SM会社は購買頻度の高い食品を扱うSM(食品スーパー)運営に特化し、(株)阪急オアシスと調達・物流等を一体となって行うなど運営の効率化を目指します。エイチ・ツー・オー リテイリンググループのコア事業である「食品」の収益向上を図り、関西における圧倒的ポジ

ションを確立します。

2020年の組織再編に向け、2019年度はSM運営に関わるあらゆる事項の検証を重ねます。お客様にとっての「ええもん安い」を追求することは当社の変わらぬ理念ですが、鮮度が良い、安いだけでなく、便利かつ心地よい、来店が「習慣になる」地域のお客様に選んでいただけるSMを作りたいと考えています。

※商業施設運営と衣料品、住居関連品の販売を行う会社

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の「GP10計画 ステージII」では、「関西ドミナント化戦略」として、顧客の日常生活から非日常生活まで対応する店舗ネットワークを構築し、関西圏顧客との接点を増やすことにより、マーケットシェアの拡大を図っています。

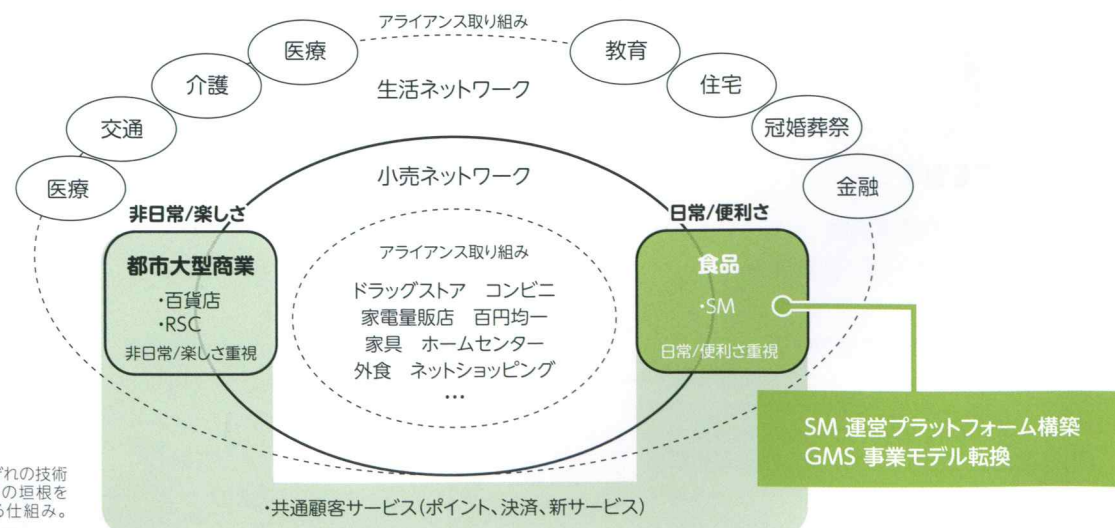
2019年度からの3年間の計画である「GP10計画 ステージII フェーズ2」では、百貨店を中心とした「都市大型商業」、イズミヤ・阪急オアシスを中心とした「食品」をコア事業とし、外部パートナーとのアライアンス\*による小売、生活ネットワークを構築することで、

### [ 経営理念 ]

地域のお客様が、健康で楽しく、心豊かな生活をおくれるように、安全で安心な商品とサービスの提供を通して「ええもん安い」の商道を追求め、社会に貢献します。

## 関西圏生活者の買い物・生活全般を支えるエコシステム\*の構築

### エイチ・ツー・オー リテイリング 【関西ドミナント化戦略】



\*エコシステム：  
複数の企業や団体が、それぞれの技術や強みを生かしながら業界の垣根を越えて連携し共存共栄する仕組み。ビジネス上の生態系

関西圏生活者の買い物・生活全般を支えるビジネスエコシステムの構築を図ることとしています。そして、そのネットワークを共通顧客サービスとして「Sポイント」でつなぎ、お客様にとって、より有益でかつ関係性を強固なものにしていく考えです。

イズミヤの3社分割は、先ほど述べた食品事業会社と、食品以外の事業においては、日用品は株式会社ココカラファインとの合併会社を設立し、同社の運営ノウハウを活用しイズミヤのGMS店舗中心に出店してまいります。衣料品、住居関連品は、新たなビジネスモデルを描き直営として展開し、さらにはマーケットに合わせたテナントを誘致し、より魅力ある商業施設づくりを行うプロパティマネジメント会社を設立します。

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の事業計画の一翼を担うため、イズミヤとして関西をさらに深掘し、どのような便利さ、楽しさを提供することができるかを発掘し、どこに力点を置きコンテンツを作っていくかを見極め、取り組みをスピードアップさせていきたいと考えています。

※連携・協力

## 人を育て、環境活動や社会貢献も継続

イズミヤの新たなフェーズを支えるのはやはり「人」。従業員一人

ひとり、全員が同じように「お客様のためにできること」を考え実践できる体制・環境を整えることは非常に重要です。

当社は、生鮮・デリカ総合研修センターを2017年に稼働。スキルを磨く機会をパートナー従業員を含め全従業員に提供しています。また、「惣菜総選挙」「泉の祭典」など、活力をもたらす様々なイベントを企画し、個々のモチベーションアップにつなげています。このような取り組みを通して、忌憚なく意見が言える風通しのよい企業風土を創っていきたくと考えています。また、企業主導型保育施設「H2Oほいくえん」の導入拡大など、多様な働き方を支援する体制づくりを進めます。

環境保全活動については、CO<sub>2</sub>排出量削減の年次目標値を毎年達成。お客様のご協力に因るところも多く、当社の取り組みにご賛同いただけている証でもあります。従業員に対する環境教育を継続して行うとともに、食品を扱う企業として食品ロス問題等への取り組みにも力を入れたいと考えています。

当社の事業指針、組織再編に対する考え、展望にご理解をいただき、今後も一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

2019年5月 イズミヤ株式会社 代表取締役社長

四條 晴也





# 社会性報告

TOPICS 1

## 企業キャラクター×お客様が、楽しく交流

### イズミヤ全店ツアー2018

～ええモンキーと17人の仲間たち～

2018年10月6日～8日、12日～14日実施

各企業のキャラクターが全店をツアーし、おすすめ商品をPR。楽しいパフォーマンスでお客様と一緒に盛り上がりました。大人も子どもも笑顔、新しい美味しさを発見できた!と大好評でした。お客様との接点を増やそう!提案や情報を楽しく発信していこう!そんな考えから、イズミヤの営業企画部が取引先企業様の協力を得て実現したイベントです。



前夜祭/西宮ガーデンズ店に企業キャラクターが大集合。試食や試供品の配布、写真撮影などを行い交流(2018年10月5日)

TOPICS 2

## 美味しいお米はどうやって作られる?

### イズミヤ&阪急オアシス&全農パールライス共同企画 食育イベント『田植え体験』バスツアー

2019年5月18日・19日実施

子どもと一緒に田植え体験ができる一泊二日のバスツアーに、15家族をご招待しました。対象商品(お米)の応募券で応募いただいた方の中から抽選で参加者を選定。イベント当日は、富山県の協力農場で初めての田植えを体験しました。「この苗が秋にはお米になるんだ!」と、食への関心を高める良い機会になりました。



自然に触れ、一生懸命に苗を植え、富山の美味しいお米もいただきました!

# お客様とともに

方針

1. “普段の生活の満足を提供し続ける店”を目指し、確かな品質、鮮度ある商品を開発します。
2. 「安全・安心」を最優先とし、仕入れから加工、販売に至る全工程で品質管理を徹底させます。
3. 商品・サービスを充実させるため、体制を整えお客様のご意見を迅速に反映させます。

## “ええもん”を開発しています



人・環境に優しいオーガニックコットンはイズミヤの自社開発製品。有機農法で農薬を一切使用せず栽培した綿花(綿糸)を使用

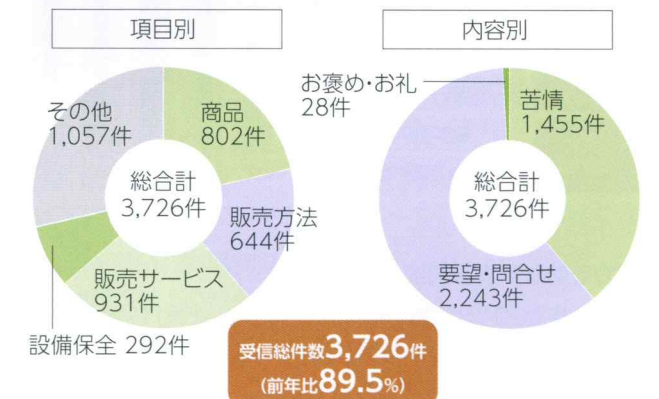
## 厳格な品質管理で安心をお届けします



独自の厳しい品質基準を制定。食品加工室では、食品衛生診断担当が年に2回衛生状態をチェックし、店舗担当者にフィードバック

## お客様の声を開発・改善につなげます

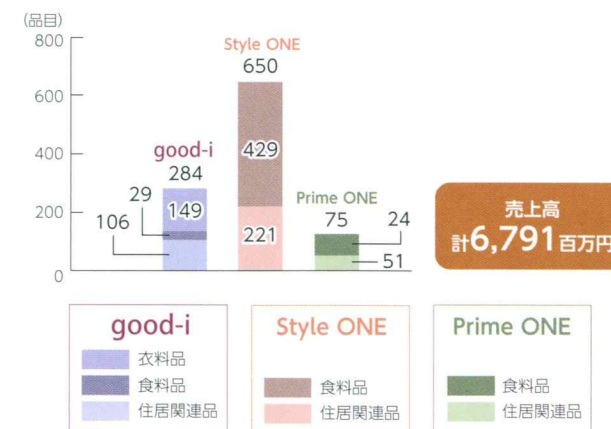
「ご意見うけたまわり係」受信状況(2018年度)  
フリーダイヤルの窓口を設け、消費生活コンサルタント等の有資格者がご要望を聞き、情報を全社で共有



Style ONE  
ユニー(株)・(株)フジ・(株)サンリブと協業、  
こだわりの約1,200品目

Prime ONE  
ワンランク上の生活を応援する高付加価値商品

オリジナルブランド取り扱い品目数・売上高(2018年度)  
各社と協力しオリジナルブランドを充実。「Style ONE」「Prime ONE」、PB商品「good-i」を合わせ2018年度は1,009品目を提供



## 2018年度 フィードバック内容

- 商品への要望・問合せ  
品揃え要望や喫食後、使用後のご意見を細かく聞き取り、改善につなげています。
- 店内環境や案内表示  
ゴミ箱の分別表記が日本語のみであるご意見を受け、外国人観光客の増加等も視野に入れた対応を考えていきます。
- サービス関連  
ご意見は事例として社内でも共有し、接客マナーとサービス向上に活かしています。



# 従業員とともに

## 方針

1. 「人が育つ会社」へ。新設の研修センターを活かし、今後のイズミヤを担う人材を育成します。
2. 「パートナー社員」「女性」が、やりがいを持って働ける職場・体制づくりに努めます。
3. 従業員の健康と安全を守るため、保健事業イベントや職場安全衛生活動に継続して取り組みます。

### 「人が育つ」体制を強化します



生鮮、デリカの加工・運営・陳列技術を磨く研修センター。2018年度から専属トレーナーを配置し、パートナー社員の研修を開始

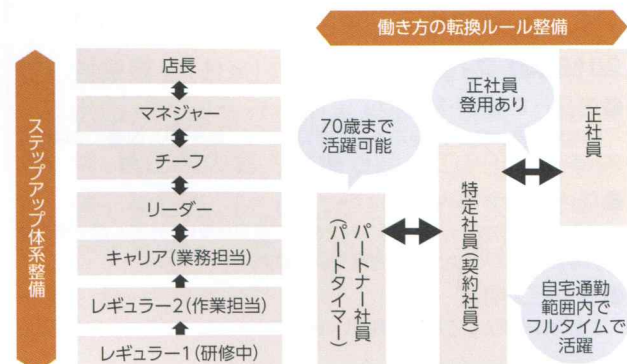
### イズミヤの教育体系

マネジメント力の向上を目的とした管理職層の教育に力を注ぐとともに、女性管理職の育成・登用にも積極的に取り組む

|              | 研修        | 自己啓発支援                                       |
|--------------|-----------|--|
| 管理職          | 評価者研修     | 新店改装店研修<br>通信教育・年間講読誌<br>自主参加型セミナー<br>資格取得援助 |
|              | 新任管理者研修   |  |
| マネジャー<br>チーフ | 管理職養成研修   |  |
|              | 新任マネジャー研修 |  |
|              | 売場チーフ研修   |  |
| 担当者<br>新入社員  | 若年次研修     |  |
|              | 新入社員研修    |  |

### 能力を活かす人事制度

人事制度を2016年度に刷新。「パートナー社員」19名を売場リーダー、5名を正社員に登用(2018年度実績)



### 従業員の健康促進をサポートします

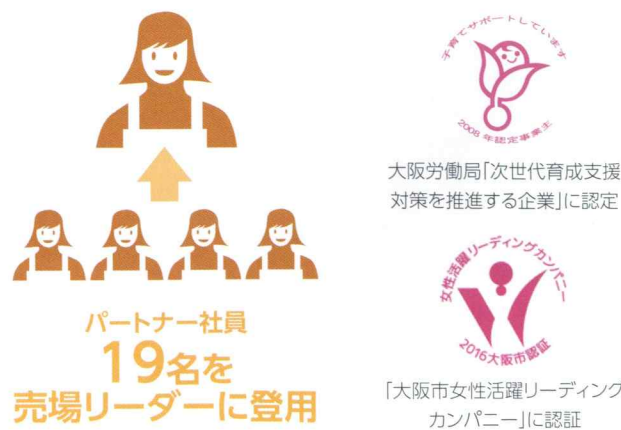


健康相談窓口を設置するほか、「健康チャレンジ」「ウォーキング」キャンペーンを毎年実施。2018年度は計372名が参加

### 女性が長く活躍できる環境を整えます



育休期間を延長するほか、休暇中の社員が情報を交換する「さらさら1238ままカフェ」を開催し、仕事との両立を細やかに支援



# 社会とともに

## 方針

1. 地域の企業市民として、皆様のお役に立ち、社会に貢献できる取り組みを続けます。
2. すべてのお客様が快適に過ごせるよう、設備やサービスに配慮を行き届かせます。

### 地元を元気に、豊かにします



地元小学校の要請に応じて社会見学の受け入れを実施。イズミヤの商品や環境取り組みを説明(2018年9月宮崎店)

### 地域社会貢献活動 実施状況2018年4月～2019年3月

| 社会貢献の内容                    | 延べ実施回数 | 参加人数   |
|----------------------------|--------|--------|
| 中学生による職場体験や特別支援学校生、企業の研修など | 110回   | 361名   |
| 「献血」「福祉バザー」の場所提供や「バザーへの寄付」 | 53回    | —      |
| 行政による各種キャンペーンのための場所提供など    | 82回    | —      |
| 小学生の社会見学や町探検などの受け入れ        | 96回    | 6,719名 |
| 警察音楽隊の演奏、盆踊り大会など、場所提供      | 26回    | —      |
| 区・市内などの一斉清掃活動への参加          | 随時     | —      |

| 盲導犬募金             | 募金金額       |
|-------------------|------------|
| 店頭盲導犬募金活動         | 1,215,612円 |
| 盲導犬育成キャンペーン(共同企画) | 207,821円   |

### 人に優しい店づくりを進めます



命を守るAEDを全店\*に設置し講習を実施。災害発生時の救助活動や物資供給に関する協定も自治体と締結  
\*テナント店舗は除く

### 店舗のバリアフリー化を推進

#### ハートビル法及びバリアフリー新法認定店舗

平田店、昭和町店、桂坂店、西田辺店、国分町店、千里丘店、井高野店、八尾店、八幡店、堅田店、神戸玉津店、紀伊川辺店、西宮ガーデンズ店、広陵店、あびこ店、山田西店、岸里店、住道店、庄内店、伏見店(計20店舗)

### 災害協定を締結する自治体

神戸市、京都府、奈良県、大阪府、和歌山市、八尾市、松原市、長岡京市、広陵町(2019年3月現在)

# お取引先様とともに

## 方針

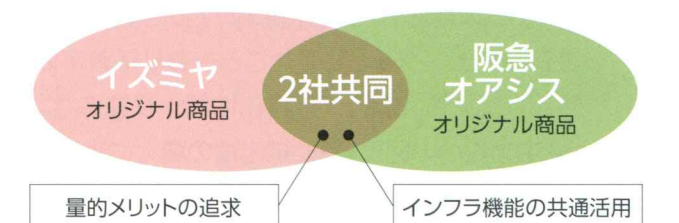
1. 取引に関する法令・ルールを遵守し、公正な取引を行い、信頼関係を築きます。
2. “ええもん安い”の商道を追求するため、取引先・関係各社との協働を加速します。

### 共同仕入れで「ええもん」を増やします



2018年度の新商品

### H2Oリテイリンググループ



同業他社との連携を強化。双方の流通チャンネルを活用することで新たなええもんを開拓



# 環境活動報告

TOPICS 1

## 地球温暖化にstop! お客様とCO<sub>2</sub>削減

### 回収トレイ・ペットボトルを再生

CO<sub>2</sub>排出削減効果は581t/年

環境にやさしい店舗を目指し、イズミヤはLEDやPOSレジなど省エネ効果の高い設備への入替を加速しています。併せて、お客様とともに様々な環境活動を続けています。店頭でのトレイ・ペットボトル回収もその一つ。リサイクル業者に渡し再びトレイとして再生・使用することでCO<sub>2</sub>削減効果は年間約581t。これは約25,617本分の植樹効果※に相当します。

※成木1本CO<sub>2</sub>22.28kg吸収/年として換算

→ 詳細はP17



2018年度の使用済みトレイ・ペットボトルの回収量は約650t。今後もお客様の協力を得ながら取り組んでいきます



TOPICS 2

## レジ袋有料化の収益金を地元に還元

### 「マイバッグ持参」でお買物

持参率51.6% → 55.4%へUP

マイバッグ持参でお買上金額が2円引きになる「マイバッグ持参運動」は、イズミヤが1998年からお客様と協働で行っている環境活動です。2018年度は、6月に北摂エリア8店舗がレジ袋有料化をスタートさせたこともあり持参率は昨年から大幅に向上。有料化に伴う収益金は、小・中学校への図書寄贈、排出権の購入に充てるなど有効に活用しています。

→ 詳細はP19



「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進およびレジ袋削減に関する協定」締結式(2018年2月18日)

# 環境目標の達成状況

方針

1. 環境問題への取り組みは企業の重要経営課題と認識し、継続的改善と保全活動に努めます。
2. 環境方針に掲げる重点項目については年次目標を定め、全員参加で目標達成を目指します。

【適合判断の基準】😊…達成率100%以上 ☹️…100%未満の未達成

| 環境方針         | 目的・目標                         | 2018年度 目標                                | 2018年度 実績  | 判断 | 2019年度 目標                         | 2020年度 目標                         |
|--------------|-------------------------------|--|--|----|-----------------------------------|-----------------------------------|
| グリーン購入       | 環境配慮型商品の開発                    | ◆PB、NBの環境配慮型商品の品目数の把握                    | ◆衣料：6品目、住関：284品目   | 😊  | ◆衣料・住関PB、NBの環境配慮型商品の品目数284品目      | ◆衣料・住関PB、NBの環境配慮型商品の品目数把握         |
| 地球温暖化        | ①店舗のCO <sub>2</sub> 削減        | ◆2013年度比20%削減(CO <sub>2</sub> 換算)        | ◆2013年度比33.2%削減(CO <sub>2</sub> 換算)  | 😊  | ◆21%削減(2013年度比CO <sub>2</sub> 換算) | ◆22%削減(2013年度比CO <sub>2</sub> 換算) |
|              | ②本社の電力使用量の削減                  | ◆本社：2013年度比20%削減                         | ◆本社：2013年度比22.6%削減<br>電力使用量：64万4,571kwh<br>(2013年実績から18万8,378kwh削減)                          | 😊  | ◆本社：2013年度比21%削減                  | ◆本社：2013年度比22%削減                  |
|              | ③OA機器入替による消費電力削減              | ◆消費電力の少ないレジ導入計画策定                        | ◆導入台数1,964台決定  | 😊  | ◆消費電力の少ないレジ入替(37店舗)               | ◆消費電力の少ないレジ入替                     |
|              | ④環境に配慮した設備の導入                 | ◆省エネ設備の導入<br>新店、改装店舗での省エネ設備の導入           | ◆省エネ設備の導入：18店舗<br>(誘導灯入替、基本照明、スポット照明LED化)<br>新店省エネ設備：あびこ店、山田西店                               | 😊  | ◆省エネ設備の導入<br>新店、改装店舗での省エネ設備の導入    | ◆省エネ設備の導入<br>新店、改装店舗での省エネ設備の導入    |
|              | ⑤新店・改装店：消費電力の少ない冷凍・冷蔵ショーケース導入 | ◆冷凍・冷蔵ショーケース                             | ◆冷凍・冷蔵ショーケース、リーチインショーケース6店舗  | 😊  | ◆冷凍・冷蔵ショーケース導入                    | ◆冷凍・冷蔵ショーケース導入                    |
| 資源の有効利用      | ①マイバッグ持参率                     | ◆持参率：53.5%                               | ◆持参率：55.4%   | 😊  | ◆持参率：54.0%                        | ◆持参率：54.5%                        |
|              | ②コピー用紙購入量の削減                  | ◆本社：2013年度比15.0%削減(87万枚削減)               | ◆本社：2013年度比38.7%(223万枚)削減  | 😊  | ◆本社：2013年度比30%削減                  | ◆本社：2013年度比31%削減                  |
| 廃棄物減量        | 廃棄物(焼却ゴミ)削減のための計量器導入          | ◆ゴミ計量器3店舗導入                              | ◆ゴミ計量器4店舗導入  | 😊  | ◆ゴミ計量器4店舗導入                       | ◆ゴミ計量器2店舗導入                       |
| 啓発・コミュニケーション | ①エコ月間の実施                      | ◆エコ月間の実施：2回                              | ◆エコ月間2回/2回(6月、10月)   | 😊  | ◆エコ月間の実施：2回                       | ◆エコ月間の実施：2回                       |
|              | ②エコ学習会の普及                     | ◆エコ学習会の実施                                | ◆エコ学習会の実施：4,795人(82回)  | 😊  | ◆エコ学習会の実施                         | ◆エコ学習会の実施                         |
|              | ③社会貢献活動の実施                    | ◆社会見学、職場体験の実施                            | ◆社会見学、職場体験の実施<br>社会見学：6,719人(96回)<br>職場体験：361人(110回)   | 😊  | ◆社会見学、職場体験等の実施                    | ◆社会見学、職場体験等の実施                    |
|              | ④店舗への啓発活動                     | ◆会議体での推進                                 | ◆店長会議 2回   | 😊  | ◆会議体での推進                          | ◆会議体での推進                          |
| 法律対応         | 食品リサイクル法対応                    | ◆食品廃棄率の削減(廃棄高/売上高)<br>2017年度廃棄率から0.01%削減 | ◆食品廃棄率の削減(廃棄高/売上高)<br>2018：廃棄率：0.621%<br>廃棄高：992,212千円<br>2017：廃棄率：0.704%<br>廃棄高：1,078,067千円 | 😊  | ◆食品廃棄率の削減(廃棄高/売上高)<br>0.01%削減     | ◆食品廃棄率の削減                         |



# 環境方針

## 方針

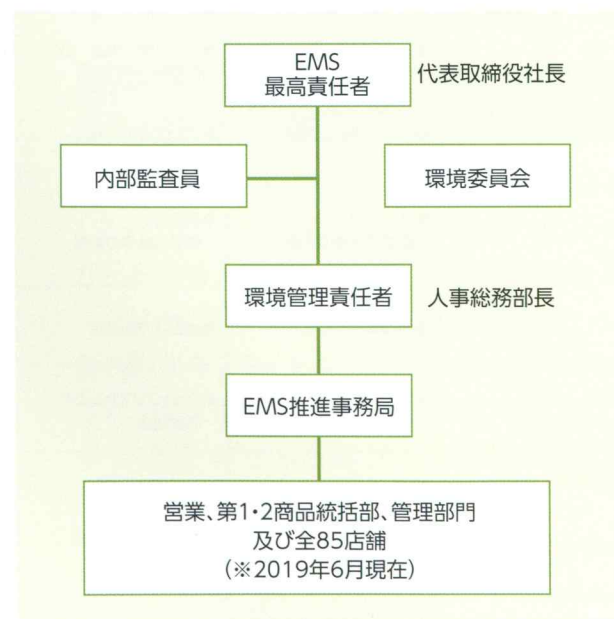
1. 環境方針の実現に向け環境マネジメントシステムを構築。全社的な取り組みを進めます。
2. 事業活動における環境負荷の数値を明確化し、課題改善のPDCAサイクルを回します。

## 環境方針

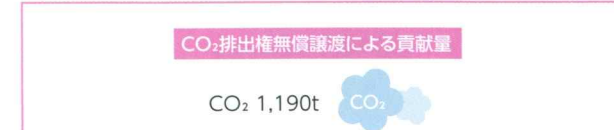
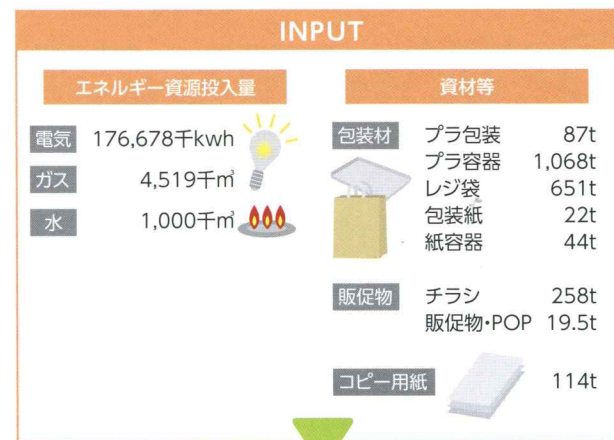
- 1 日常の事業活動において、「お客様第一」の考えを基本とし、地域の良き企業市民として行動し、環境保全に努めます。
- 2 環境マネジメントシステムの運用を通じて、継続的改善と汚染の予防に努めます。
- 3 環境関連の法規制および受け入れを決めた要求事項を、遵守するとともに自主基準を設定し、事業活動を管理します。
- 4 次に挙げる4項目を主軸として、環境目的と目標を設定し、定期的または必要に応じて、見直します。
  - ① 環境と人にやさしい商品の仕入れと開発(グリーン購入)を推進します。
  - ② エネルギー使用量の削減など、地球温暖化対策に取り組みます。
  - ③ 廃棄物の減量と、資源の有効利用に取り組みます。
  - ④ 啓発活動やコミュニケーション活動を継続的に行うとともに、地域社会、自治体、お取引先とのパートナーシップ活動を積極的に実施します。
- 5 この方針は、全従業員に周知徹底し、全員参加で取り組みます。
- 6 この方針は、社外全般に公表します。

2019年4月1日  
イズミヤ株式会社 代表取締役社長 四條 晴也

## 環境マネジメント推進体制



## 2018年度 環境負荷の状況



\*2017年度策定係数により換算。なお、2013年度策定係数で換算すると、102,877t。

# 地球温暖化対策

## 方針

1. 地球温暖化対策を重点項目とし、事業活動のあらゆる側面からCO<sub>2</sub>排出量削減に努めます。
2. 従業員に目標や方針を周知し、環境保全に対する個々の意識を高め、取り組みを前進させます。

## 各種省エネ設備の導入を進めます



省エネショーケースやPOSレジの入替えを進めるほか、各店状況に合った「節電取り組み行動計画」を設定し、CO<sub>2</sub>排出量を削減

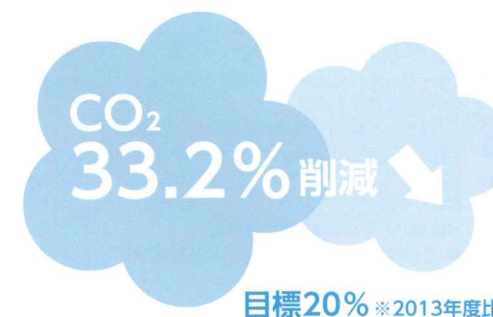
## 本社及び店舗の電気・ガス使用によるCO<sub>2</sub>排出量の推移



\*2018年度目標設定時において、2013年度を基準年としてCO<sub>2</sub>換算しています。

## エコカー充電にも対応

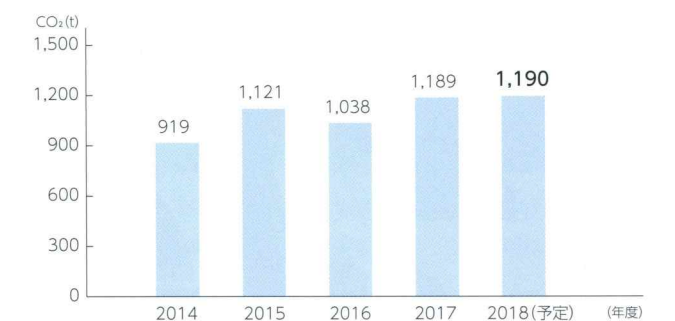
店舗に充電所を設置し、電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHV)向けの無料充電サービス(普通充電)を西神戸店、千里丘店、八尾店、神戸玉津店、八幡店で実施



## 「排出権」を購入し温暖化防止に貢献

### 排出権購入量

事業活動でのCO<sub>2</sub>削減以外に、イズミヤは、排出権を購入してCO<sub>2</sub>を削減する取り組みを継続。2018年度は国内クレジットと京-VERクレジットを合わせ1,190tを購入し無償譲渡



\*各年度の排出権分を翌年に購入

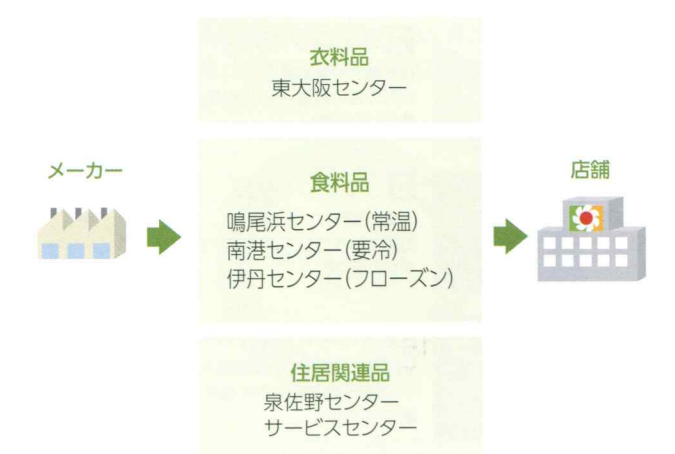
### 【以下の取り組みにより排出権を購入】

- 1 有料レジ袋の収益金
- 2 お客様参加型懸賞キャンペーン(6月、10月エコ月間)
- 3 排出権付PB商品の販売

## 輸送で発生するCO<sub>2</sub>量を抑制します

メーカーからの荷物を「物流センター」に集約し、店舗に一括配送することでトラック台数を削減

## センター集約でトラック台数を削減





# 店舗の環境配慮設備

環境にやさしい設備や配慮が満載



## 省エネ効果の高い設備を導入

- 1 ガスコージェネレーションシステム**  
環境負荷の少ない天然ガスを使用し、廃熱を冷暖房や給湯に有効利用。  
●(計7店舗)
- 2 氷蓄熱システム**  
夜間電力で氷を蓄え、夏場の夏の冷房・冷却に利用。  
●(計28店舗)
- 3 デシカント空調**  
温度・湿度をコントロールし、着霜を防ぎ約10%の省エネを実現。  
●(計8店舗)
- 4 複合型ビル監視制御システム**  
空調機や照明等の設備機器をON/OFFで任意に操作・制御。  
●(計82店舗)
- 5 LED照明(基本照明)**  
低消費電力で、長寿命の高効率照明。  
●2018年度導入店舗/  
住道店、庄内店、伏見店(計76店舗)
- 6 扉付き冷凍ショーケース**  
冷気を逃がさない扉付きのショーケース。  
●2018年度導入店舗/  
八幡店、昆陽店、住道店、稲田新町店、今福店、桂坂店、庄内店、上新田店、伏見店(計47店舗)
- 7 冷凍・冷蔵ショーケース(省エネ制御機器)**  
ショーケースと冷凍庫の温度管理システム。  
●2018年度導入店舗/  
八幡店、昆陽店、住道店、稲田新町店、今福店、桂坂店、庄内店、上新田店、伏見店(計64店舗)
- 8 POSレジ**  
消費電力の少ないレジに入れ替え。  
●2018年度POSレジ設置店舗数(計83店舗)

# 廃棄物の削減

## 方針

- 1. 3Rを推進、Reduce⇒Reuse⇒Recycle⇒適正処理の優先順位を踏まえ廃棄物削減に取り組みます。
- 2. 回収ゴミの状況を「見える化」し、従業員教育を強化。廃棄物削減への意識啓発を行います。

## 廃棄物総量を5%削減しました

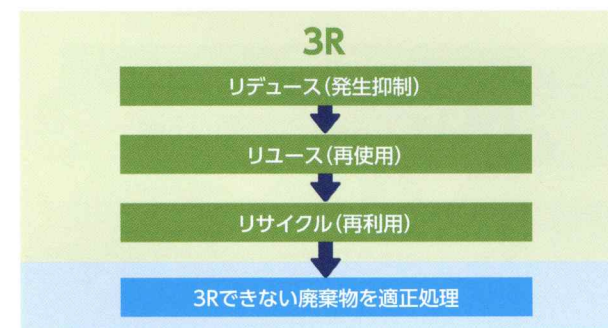


2018年度イズミヤ全社の廃棄物排出総量は21,770t。3Rに取り組むことで、前年比95.0%となり1,134tを削減

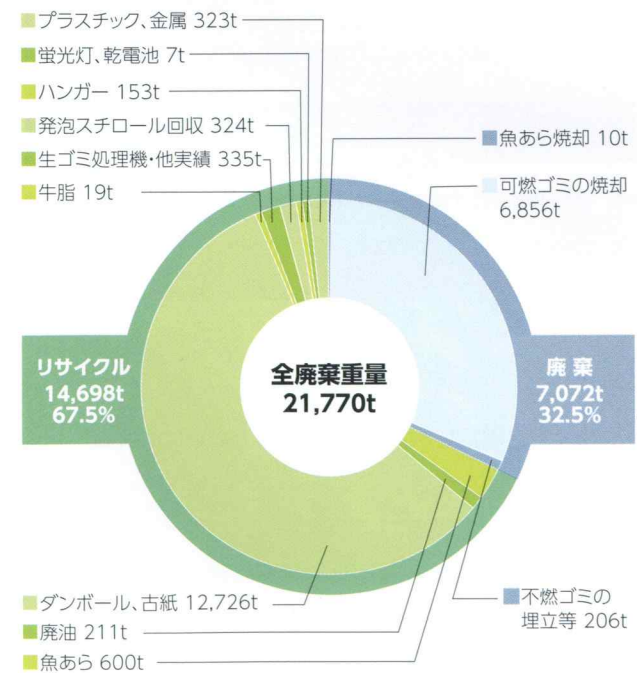
## 計量器導入店舗を拡大します



従業員教育を新店、改装店で実施。計量器の操作方法、分別リサイクルの説明会を行い、廃棄物削減に対する意識を向上



## 廃棄物重量内訳

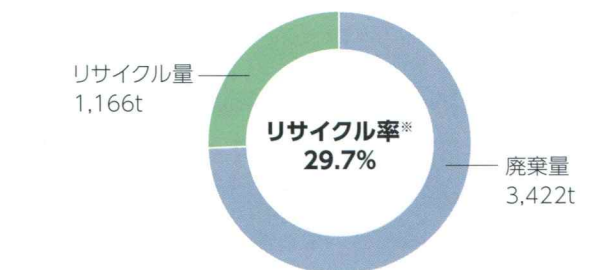


店舗のゴミ量を部門・分類別に読取る廃棄物計量システムを52店舗に導入。2019年度は4店舗に導入予定

## 食品廃棄物のリサイクルを推進

### 食品廃棄物リサイクル

魚あらの98%、廃油100%をリサイクル。食品全体でのリサイクル率は29.7%。販売方法や商品発注の精度も高め、売れ残りの廃棄商品削減を目指す



※再生利用実施率 (単純リサイクルに2007年度比の発生抑制を加味した値)



# 環境に配慮した商品の提供

## 方針

1. 自社基準を制定し、地球環境に負担のない商品の仕入れと開発(グリーン購入)を推進します。
2. 店舗だけでなくお客様のご家庭から排出される廃棄物も削減する、様々な取り組みを実践します。

## 環境商品の開発に取り組んでいます

### PB/NBの環境配慮型商品の品目数(2018年度)

|    |      | PB | NB |
|----|------|----|----|
| 衣料 | 低負荷型 | 2  | 4  |
|    | 拒絶型  | 2  | 6  |
| 住関 | 減量型  | 1  | 85 |
|    | 再生型  | 88 | 39 |
|    | 低負荷型 | 52 | 6  |
|    | 再使用型 | 1  | 4  |

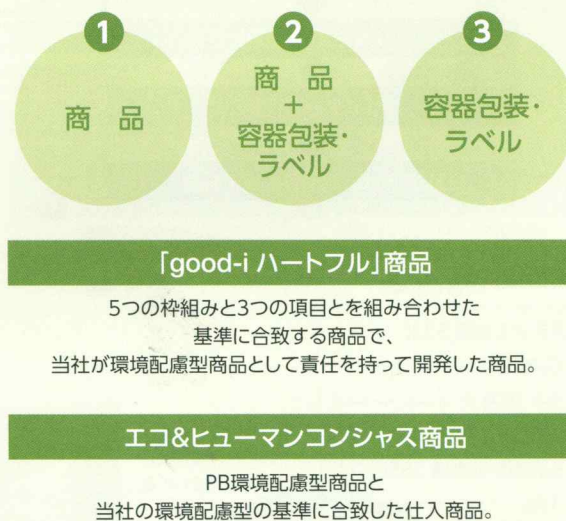
PB(プライベートブランド)だけではなく、NB(ナショナルブランド)の環境配慮型商品についても目標を設定して取り組んでいく予定

## イズミヤ・環境配慮型商品の基準(2018年度時点)

### 5つの枠組み



### 3つの項目



### PB環境配慮型商品の開発基準

上記基準のうち、以下のものを「PB環境配慮型商品」とする。

- ① good-i ハートフル
- ② Style ONE、Prime ONE 商品の中で、good-i ハートフルの基準を満たしている商品または、eco! on 商品
- ③ good-i クオリティ商品の中で、good-i ハートフルの基準を満たしている商品
- ④ その他の自社開発商品の中で、good-i ハートフルの基準を満たしている商品
- ⑤ ②~④については、PB審議会でエコ宣言をする

## 容器包装資材の削減に努めます

### 容器包装リサイクル法対象容器使用量

家庭ゴミ全体の6割(容積比)を占めるといわれる容器包装。その削減、リサイクルに向けた資源回収を店頭で実施

(単位:kg)

| 年度   | ガラス瓶   | 紙     | その他プラスチック | 合計        |
|------|--------|-------|-----------|-----------|
| 2017 | 19,494 | 7,326 | 1,296,537 | 1,323,357 |
| 2018 | 18,780 | 8,318 | 1,398,990 | 1,426,088 |
| 2019 | 14,552 | 9,379 | 1,063,317 | 1,087,248 |

※ペットボトル100%とトレーの一部は控除しています。

### 容器包装リサイクル法再商品化委託料

(単位:万円)

| 年度   | 再商品化委託料金 |
|------|----------|
| 2017 | 5,306    |
| 2018 | 6,054    |
| 2019 | 4,909*   |

※2019年度は返戻金を反映させていません。

## 「トレーtoトレー」で資源を再活用

### 再生トレー使用の割合

お客様から回収した「トレー」を再び「トレー」に。資源の有効活用につながる再生トレーの使用を拡大していく予定



## 販売・陳列方法も工夫します



農産物は年間70品目、水産物は鮮魚・干物で「盛り売り」「ばら売り」を行い、トレーなどご家庭の食品関連ゴミの削減に協力

## 食品廃棄物を飼料に再生しています



食品調理くずや食品廃棄物の「リサイクルループ」を構築中。(推進店舗/桂坂店、八幡店、洛北店、長岡店、千本中立売店、伏見店)



# お客様と行う環境活動

## 方針

1. お客様とともに資源を有効活用し環境負荷を低減。協力で得た収益金を社会に還元します。
2. 地域社会、行政、自治体とのパートナーシップ活動を積極的に行い、循環型社会の実現に貢献します。

## リサイクル資源を店頭で回収

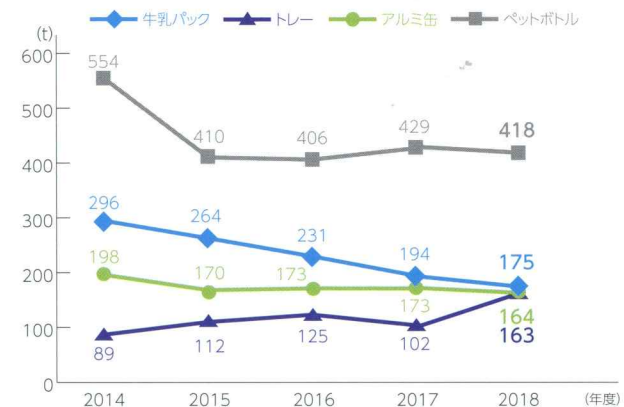


### 透明トレイ回収店舗

千里丘店、六地藏店、桂坂店、堅田店、河内長野店、八幡店、枚方店、小林店、長岡店、西宮ガーデンズ店、山田西店、広陵店、西神戸店、橿原神宮前店、淡路店、天下茶屋店、深江橋店、上新庄店、古市店、岸里店(計20店舗)

## お客様とともに行うリサイクル資源の店頭回収量の推移

牛乳パック・トレー・アルミ缶・ペットボトルの回収ボックスを食品取扱店の店頭で設置。透明トレイの回収も20店舗で実施



## 店頭回収品の再資源化の流れ



## 店舗の古紙回収リサイクルも好評です

お客様が持ってこられた古雑誌・古新聞1kgあたり1ポイントを付与。500ポイントでイズミヤの商品券と交換

### 古紙回収導入店舗

松原店、長岡店、河内長野店、昆陽店、千里丘店、六地藏店、八幡店、西神戸店、大久保店、桂坂店、古市店、小林店、神戸玉津店、八尾店(計14店舗)

## 家電の再資源化促進にも協力

「小型家電リサイクル法」の施行に伴い、行政からの依頼を受け、使用済家電のリサイクルBOXを店頭で設置

### リサイクルBOX設置店舗

高野店、六地藏店、白梅町店、洛北店、若江岩田店、鶴越町店、西神戸店、御影店、神戸玉津店、泉北店、阪和堺店、小林店、玉手店、上新田店(計14店舗)

## 計23店舗でレジ袋を有料化しています



1枚5円カード  
(必要な方にレジ袋販売)

レジ袋不要カード  
(2円引きカード)

2007年から開始したレジ袋有料化は、レジ袋使用による環境負荷を低減し、お客様の環境意識の向上にもつながっている

## レジ袋有料化店舗

光風台店、桂坂店、白梅町店、羽束師店、伏見店、洛北店、高野店、六地藏店、堅田店、堀川丸太町店、千本北大路店、千本中立売店、長岡店、西神戸店、神戸玉津店、平田店、山田西店、ららぽーとEXOCITY店、庄内店、池田旭丘店、北緑丘店、千里丘店、上新田店(計23店舗)

## レジ袋有料化の収益金を地域の教育現場に還元

| 店舗名                                       | 寄付金額       | 寄付内容  |
|---|------------|---|
| 光風台                                       | 77,738円    | 吉川中学校に図書への寄贈                                  |
| 桂坂  | 182,623円   | 桂坂小学校、大枝小学校、大枝中学校、西総合支援学校に図書への寄贈              |
| 白梅町                                       | 155,001円   | 大將軍小学校、翔鶴小学校に図書への寄贈                           |
| 羽束師                                       | 75,816円    | 神川小学校に図書への寄贈                                  |
| 洛北  | 181,125円   | 高野保育園に図書への寄贈                                  |
| 高野  | 94,154円    | 左京図書館に図書への寄贈                                  |
| 六地藏                                       | 98,172円    | 桃山東小学校、藤城小学校に図書への寄贈                           |
| 堅田  | 88,560円    | 真野小学校に図書への寄贈                                  |
| 堀川丸太町                                     | 201,863円   | 二条城北小学校、二条中学校に図書への寄贈                          |
| 千本北大路                                     | 114,001円   | 楽只小学校に図書への寄贈                                  |
| 長岡  | 175,360円   | 長岡第4小学校、第5小学校、第8小学校、神足小学校、大山崎小学校、市立図書館に図書への寄贈 |
| 西神戸                                       | 177,407円   | 高丘中学校、高丘西小学校、高丘東小学校に図書への寄贈                    |
| 神戸玉津                                      | 375,084円   | 王塚大中学校、枝吉小学校に図書およびテントの寄贈                      |
| 桂坂、白梅町、羽束師、洛北、高野、六地藏、堀川丸太町、千本北大路、千本中立売、伏見 | 344,266円   | 京都市ごみ減量推進会議への寄付                               |
| 合計  | 2,341,170円 |   |

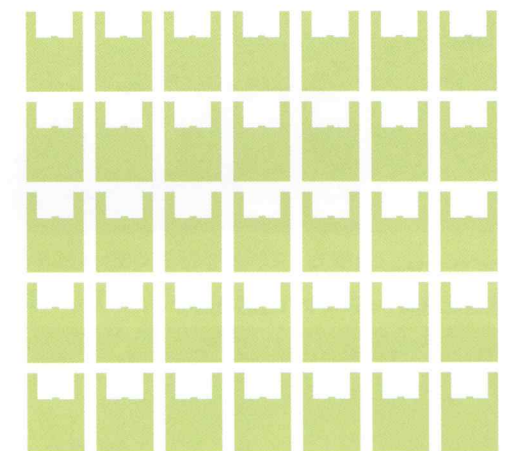
## マイバッグ持参率が向上しました

### マイバッグ持参率とレジ袋削減枚数※

レジ袋有料化店舗が増え、また、マイバッグ持参運動等の取り組みを進めることで持参率は55.4%に増加



※1人あたりレジ袋2枚使用として年平均持参率から計算しています



年間レジ袋  
8,581万枚を削減



# 環境コミュニケーション

方針

1. 環境保全への意識を高めていただくため、啓発活動やコミュニケーション活動を継続的にを行います。
2. 年2回「エコ月間」を設け環境取り組みを強化、企業様と協働する取り組みも進めます。

## 「みんなのエコで東北を応援しよう」キャンペーン



東北の復興支援を含めたお客様参加型懸賞イベントを企画し、応募1通につき5円をイズミヤが拠出。宮城県加美町のCO<sub>2</sub>削減プロジェクトに充て、2018年度は計約10.5tを削減

## 「エコ学習会」で子ども達に発信します



地域小学校の子ども達を店舗に招いて行う「エコ学習会」は毎回好評。自然・環境の大切さを伝える取り組みを今後も継続

### エコ学習会の推移

| 年度         | 2013  | 2014  | 2015  | 2016  | 2017  | 2018  |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| エコ学習(参加人数) | 4,151 | 4,405 | 3,524 | 3,437 | 5,651 | 4,795 |
| エコ学習(回数)   | 68    | 79    | 74    | 60    | 109   | 82    |

## 企業様協賛の「エコツアー」は毎年好評

### ■兵庫エコツアー

エフピコトレーリサイクル工場+キリンピアパーク神戸を見学



### ■京都エコツアー

月桂冠大倉記念館+イズミヤ八幡店を見学



キャンペーン賞品となる「エコツアー」に計80名のお客様が参加。キリングroup様、月桂冠様、エフピコ様のご協力により、試飲会なども交え、楽しみながら環境への関心を高める機会を提供

## 社外との環境コミュニケーション

### 2018年度実施状況

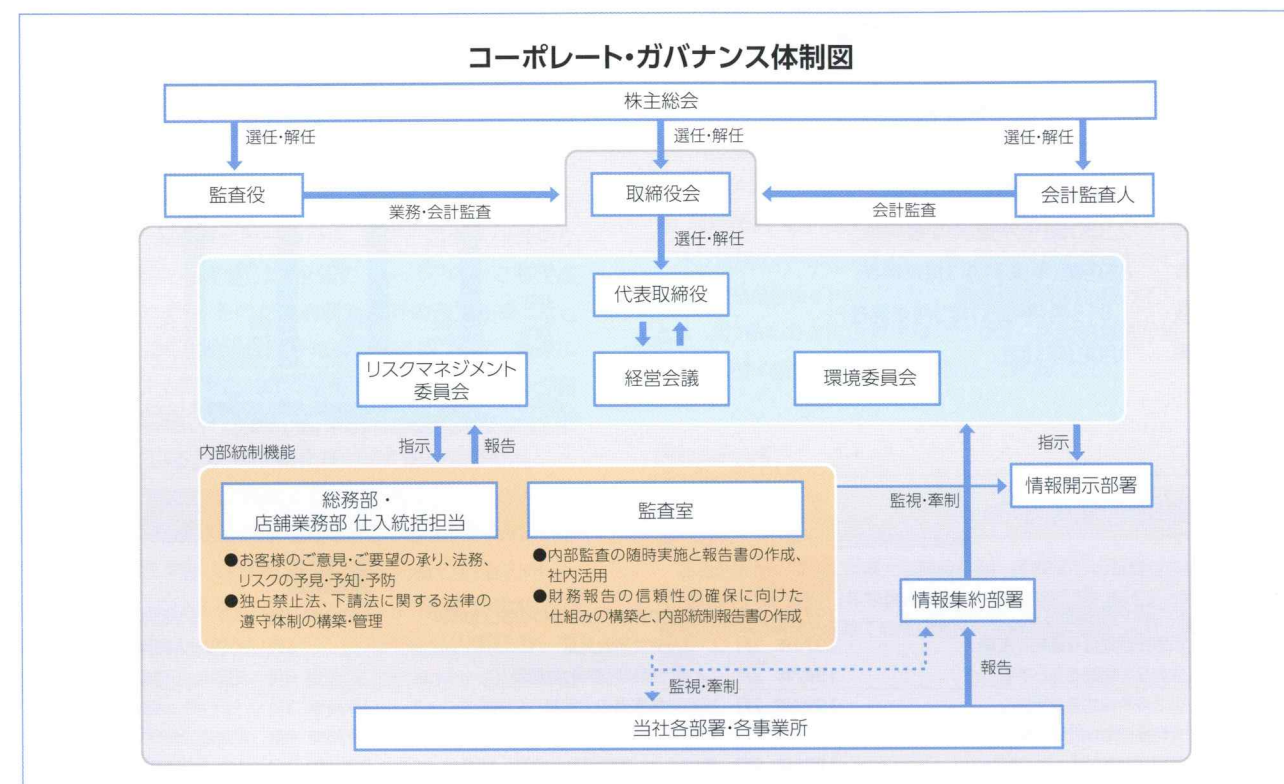
|                  |       |
|------------------|-------|
| CSRレポート送付状況★     | 1,367 |
| エコ学習会の受け入れ       | 82    |
| お客様の声(5050受信)    | 8     |
| お客様の声(店頭設置BOX受信) | 22    |
| 行政等主催会議への出席      | 24    |
| 行政               | 24    |
| 近隣住民との調整         | 2     |
| マスコミ・報道関係        | 6     |
| 取引先              | 3     |
| 合計               | 1,538 |

★CSRレポートの「読者アンケート」の送付方法はP23をご覧ください。

# コーポレートガバナンス

方針

1. コーポレートガバナンスを経営の重要課題と位置づけ、法令や社会規範を遵守した、長期的展望に立った企業価値の向上に資する経営を目指します。
2. 「お客様第一主義」を基本方針とし、信頼関係を深化かつ継続することで企業価値を向上します。



### 【経営理念】

地域のお客様が、健康で楽しく、心豊かな生活をおくれるように、安全で安心な商品とサービスの提供を通して「ええもんあい」の商道を追求し、社会に貢献します。

### 【経営指針】

- イズミヤは、法令および社会正義に則り、正々堂々と事業の発展を追求します。
- イズミヤは、日常の事業活動を通し、環境保全に貢献します。
- イズミヤは、魅力ある商品の品質と価格で、お客様に十分な満足を提供します。
- イズミヤは、お取引先とのパートナーシップを築き、協同して魅力ある商品開発に努めます。
- イズミヤは、地域に根ざした社会貢献活動を行い、信頼される企業市民を目指します。
- イズミヤは、適正な利潤を得て、社会への貢献を維持継続し、株主の信頼に応えます。
- イズミヤは、働きがいがあり、自己革新ができる職場づくりを目指します。

イズミヤハンドブック

## コンプライアンスの徹底

「エイチ・ツー・オー リテイリンググループ行動規範」および「グループコンプライアンス規程」を遵守するとともに、「経営理念」「経営指針」「行動規範」に基づく倫理観・価値観を実践しています。また、エイチ・ツー・オー リテイリンググループの公正取引、品質管理、情報セキュリティに関する各種推進委員会に参画。諸施策の推進および情報の共有化を図るとともに、当社の各種会議や研修を通じて、従業員に対し法令遵守のための教育、周知を行っています。

## 情報管理、個人情報保護

個人情報および会社機密情報等の取り扱いには、重要なコンプライアンスと位置付けています。特に個人情報管理に関しては、「個人情報管理運用ルール」を社内イントラネットで公開し、事業所実務に適用する対応指針としています。

従業員に対しては会社へ「誓約書」の提出、お取引先に対しては契約時の守秘義務契約の締結などの管理ルールを定め、定期的な研修やチェックリストを活用し情報管理の重要性の啓発を行っています。



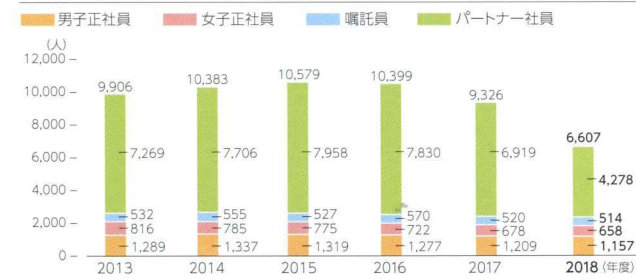
会社概要

社名 イズミヤ株式会社  
 本社所在地 〒557-0015 大阪市西成区花園南1丁目4番4号  
 事業内容 衣料品、食料品、電器、家具、レジャー用品、日用雑貨等の総合小売業のチェーンストア  
 創業 1921年(大正10年)5月3日  
 設立 2016年(平成28年)7月1日  
 イズミヤ株式会社は株式会社エイチ・ツー・オーアセットマネジメントへ商号変更、並びにイズミヤ株式会社を新設  
 資本金 1億円(平成30年3月末)  
 代表者 代表取締役社長 四條 晴也  
 売上高 2,330億円(平成30年度実績)  
 店舗数 85店舗(平成31年3月末現在)  
 社員数 1,815名(平成31年3月末現在)  
 決算 3月末(年1回)

売上高



従業員数



※パートナー社員については1日8時間、年間2,000時間を1人として換算。  
 ※正社員には従業員兼務役員を含み、出向者を除く。

第三者意見



京都市ごみ減量推進会議事務局職員

堀 孝弘氏

イズミヤCSRレポート2019を見て感じることは、先進的取り組みと継続の大切さ。折しも日本政府は、2019年6月のG20大阪サミットに先立ち、2020年4月から全国のスーパー等でのレジ袋有料義務化の実施方針を打ち出した。イズミヤは2007年に大阪府豊能町光風台店、京都市西京区桂坂店などでレジ袋有料化を実施した。全国のスーパーの中でも先進的な取り組みであり、そのため店頭対応での苦勞もあったと聞いている。しかし、地元行政や市民団体と協力して、地道に実施店舗を拡大してきた。また、京都市をはじめ地域でレジ袋有料化協定が締結される際には、積極的な役割を果たしてきたことも知っている。ようやく時代が来てきた感がある。

使い捨てプラスチック削減について世界で関心が高まっているが、流通小売業者が単独でできることは限られている。その中でイズミヤが、店頭資源回収で販売量の数倍のペットボトルを回収していることを取り上げたい。「削減」そのものではないが、20年以上継続して、企業の社会的責任の一つを果たしていると考える。ただ、夏場は回収箱がすぐに一杯に

CSRレポートの発行にあたって

編集方針

イズミヤ株式会社の事業活動における「経済」「社会」「環境」の3つの側面に関して、「ステークホルダーの皆様への関心」と「事業活動としての重要性」の観点から報告内容を選択し本報告書にまとめました。当社の活動状況や企業姿勢をより多くの方々にご理解いただき、各ステークホルダーに適切な情報を提供することを目指しています。報告書の作成にあたっては、環境省発行の環境報告ガイドライン(2018年版)及びGRIの「GRIスタンダード」を参考にしています。

報告対象組織

イズミヤ株式会社

報告対象期間・発行日

2018年度(2018年4月1日~2019年3月31日:当社事業年度)  
 ※一部、期間外の活動についても報告。  
 今回発行2019年7月(次回発行予定2020年7月)  
 ※1995年より発行、本報告書は21回目の発行となります。

免責事項について

本報告書には発行日時点における予想・予測・計画も含まれております。これらは記述した時点で入手できた情報に基づく仮定や判断が含まれており、諸条件の変化によって、本報告書に記載した予測・予想・計画とは異なる可能性があります。

お問合せ先

イズミヤ株式会社 総務部 エコロジー推進担当  
 TEL.06-6657-3455 FAX.06-6657-3398  
 URL http://www.izumiya.co.jp

社会・環境活動の歩み

経営

- 1921年 5月 いづみや呉服店として 大阪市西成区花園町に創業
- 1952年 4月 衣料品の販売を主とする いづみや株式会社を設立
- 1968年 4月 食料品の取り扱いを開始
- 1970年 3月 電器、家具の取り扱いを開始
- 1979年 9月 「いづみや」から「イズミヤ」に社名変更
- 1985年 9月 「イズミヤカード」発行
- 1999年12月 ネットショップ「アイウィル」を開設
- 2001年 3月 ネットスーパー「楽楽マーケット」を開設
- 10月 プライベートブランド「good-i」導入開始
- 11月 「クラブカード」全店導入
- 2009年 8月 イズミヤ(株)・ユニー(株)・f&j共通プライベートブランド「StyleONE」発売開始
- 2010年 2月 伊藤忠商事(株)と資本業務提携
- 12月 衣料品新業態「fratto(フラット)」オープン
- 2011年 4月 電子マネー「miyoca」導入
- 9月 イズミヤ中国1号店「泉屋百貨」開店
- 2013年 6月 「惣菜新工場及び食品プロセスセンター」の開設
- 8月 電子マネー機能付き新「イズミヤクラブカード」誕生
- 10月 新業態の実験を開始「ファミリーマート×イズミヤ寺田町東店」を開店
- 2014年 6月 H2オリテリングと経営統合
- 2015年11月 「ソレーナSTACIAカード」申込開始
- 2016年 4月 ポイントカード「ヒナタス」全店導入
- 7月 株式会社エイチ・ツー・オー アセットマネジメントに商号変更、並びにイズミヤ(株)を新設
- 2018年 1月 再オープン1号店として「あびこ店」を開店
- 2月 「山田西店」を開店
- 4月 「岸里店」を開店
- 7月 「住道店」を開店
- 12月 「伏見店」を開店
- 2019年 4月 「カナートモール和泉府中」を開店
- 5月 「新中条店」を開店

社会

- 1971年 3月 お客様の声をうけたまわる窓口を開設
- 1974年 3月 いづみや共済会発足
- 1987年 3月 「人事問題検討委員会」発足
- 1994年 2月 視覚障害者のお客様への対応マニュアル作成
- 1996年 9月 車椅子・杖・老眼鏡を全店舗へ設置
- 2000年 3月 「お客様の声ボックス」を全店に設置
- 2004年 3月 お問い合わせHP窓口開設
- 3月 オペレーションリーダー制度を導入
- 2006年 4月 リーダー契約社員制度を導入
- 2007年 9月 育児休業制度と育児短時間勤務制度を拡充
- 2008年10月 AED(自動体外式除動器)を16店舗に導入
- 2009年10月 子育てをサポートする「基準適合一般事業企業」に認定
- 2010年 9月 組合員範囲の拡大
- 2月 大阪府立大学と「地域貢献パートナー協定」を締結
- 2011年 5月 宮崎県口蹄疫被害に対する募金活動
- 2月 「ニュージールランド地震」への募金活動
- 3月 「東日本大震災」に対する募金活動
- 9月 「台風12号による水害被害」に対する募金活動
- 2013年 2月 「StyleONE天然水2Lの売上金の一部を東日本大震災被災地の復興支援に寄付
- 12月 「フィリピン台風被害」に対する募金活動
- 2014年 9月 「広島県大雨災害」に対する募金活動
- 9月 盲導犬募金額が累計3000万円に達したことによる感謝状の授与
- 2015年 5月 「ネパール地震」に対する募金活動
- 9月 「台風18号等大雨災害支援金」募金活動
- 2016年10月 「盲導犬育成キャンペーン」\*実施。
- 2017年10月 「盲導犬育成キャンペーン」\*実施
- 2018年10月 「盲導犬育成キャンペーン」\*実施
- ※ユニー・イズミヤ・f&j&j日清ペットフード共同社会貢献活動企画

環境

- 1992年 4月 牛乳パック回収スタート
- 5月 アルミ缶回収実験スタート
- 6月 食品トレイ回収スタート
- 1994年 3月 ペットボトル回収スタート
- 1998年 6月 買物袋スタンプ制度開始
- 2001年 2月 ISO14001認証を本社で取得
- 6月 「イズミヤ環境活動報告2001」発行
- 2002年 2月 ISO14001認証を関東営業本部で取得
- 2003年 4月 千里丘店にて透明トレイの回収実験開始
- 2004年 5月 「エコロジーなぞなぞブック」発行
- 10月 マイバスケケットを全店取り扱い開始
- 2005年 6月 「マイバグ持参キャンペーン」を実施
- 2007年 3月 光風台店で「レジ袋有料化」実施
- 2008年 2月 六地蔵店に廃棄物計量器導入
- 8月 カーボンオフセット付きPB商品を発売
- 2011年 6月 第1回「みんなのエコで東北を応援しようキャンペーン」実施
- 10月 第2回「みんなのエコで東北を応援しようキャンペーン」実施(2017年まで毎年2回実施)
- 10月 5店舗で「エコ値引き」開始
- 2012年 2月 全店「エコ値引き」開始
- 2015年 2月 「千本北大路店」開店に伴うレジ袋有料化開始(全12店舗)
- 9月 「千本中立売店」開店に伴うレジ袋有料化開始(全13店舗)
- 2016年 1月 「長岡店」レジ袋有料化開始(全14店舗)
- 7月 「西神戸店」「神戸玉津店」レジ袋有料化開始(全16店舗)
- 2018年 6月 北摂地区8店舗のレジ袋有料化開始(全22店舗)
- 第15回「みんなのエコで東北を応援しようキャンペーン」実施
- 10月 第16回「みんなのエコで東北を応援しようキャンペーン」実施
- 2019年 5月 「新中条店」開店に伴うレジ袋有料化開始(全24店舗)

PROFILE

堀 孝弘氏

●京都市ごみ減量推進会議事務局職員

流通企業で8年勤務、京都大学職員を4年、環境NPOの事務局長を11年、自治体の管理職を2年経験。全国的な環境活動に取り組むとともに、複数の大学の講師も務めてきた。現在は、京都で地に足をつけた活動を実践している。

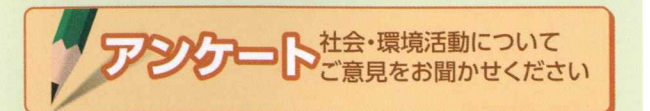
編集後記

「CSRレポート」は、イズミヤの社会・環境活動を皆様によりご理解いただくことを発行の目的としています。2019年度は環境、社会の方針をヘッダーにししたり、イラストを配置したりと編集方針を大きく変えて作成いたしました。イズミヤの取り組みに関して、皆様の忌憚のないご意見をアンケートなどでお寄せいただけましたら幸いです。

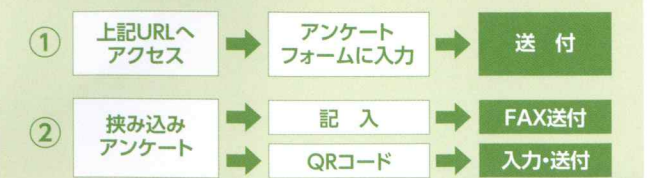
読者アンケートにご協力ください!

皆様の声を事業活動に活かします!

〈イズミヤ・CSRレポート2019アンケートフォーム〉  
<https://customform.jp/form/input/33586/>



〈アンケート送付方法〉







**イズミヤ株式会社**

〒557-0015 大阪市西成区花園南1丁目4番4号  
TEL.06-6657-3455 FAX.06-6657-3398

URL.<http://www.izumiya.co.jp>



見やすく読み間違えにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。